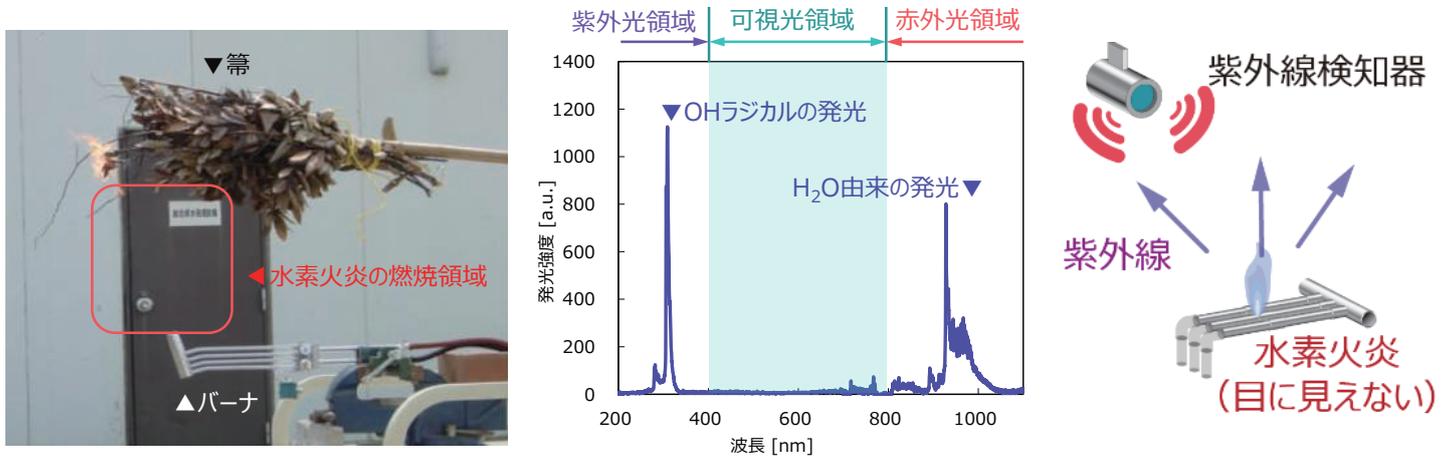


水素火炎の特性と可視化の必要性

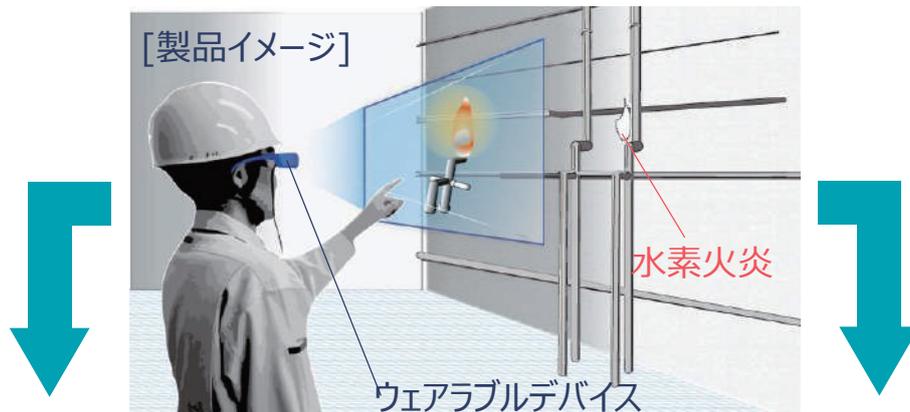
水素火炎の特性

水素火炎は可視の発光が無く、無色透明でヒトの目では視認できません。しかし、紫外と赤外にある発光を捉えることで可視化が可能です。



危険源の顕在化の必要性

ハンズフリーの水素火炎可視化装置により水素の安全利用が可能に！



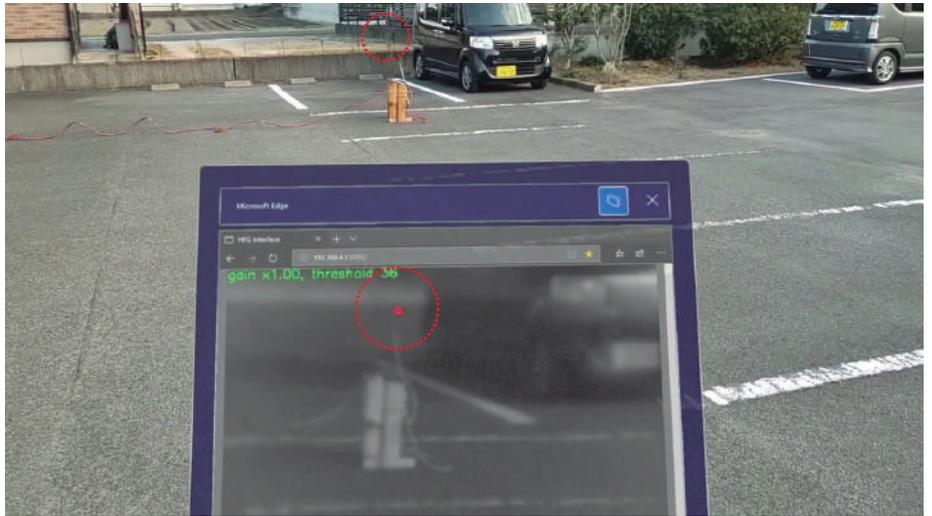
現在水素火炎の検知用に使われている紫外線検知器の課題
⇒ 誤報が非常に多い（水素火炎由来以外の光による誤検知）
⇒ 火炎の領域がわからない（画像を取得する装置ではない）



水素火炎可視化デモの概要

ウェアラブルデバイスの製品開発

近赤外の光で水素火炎を可視化するウェアラブルデバイスを開発中
(四国総合研究所、九州計測器の共同開発)



試作機が完成し、2022年より製品モデルを開発しています。

水素火炎のデモ

水素火炎の可視化デモは、四国総合研究所にて承っております。
実際に水素に着火し、実機にて「見える化」をお試しいただけます！



所在地

香川県高松市屋島西町 2109 番地 8

交通のご案内

JR 予讃線「高松駅」下車、タクシーで約 15 分。
高松空港よりタクシーで約 40 分。
高松自動車道高松西 I.C. より車で約 30 分。
高松自動車道中央 I.C. より車で約 20 分。

地図詳細



四国電力体育館の入り口から
入り、約300m直進ください。



四国電力グループ

株式会社四国総合研究所
SHIKOKU RESEARCH INSTITUTE INC.

<https://www.sskn.co.jp/>

お問合せ窓口

電子アグリ技術部 レーザグループ 荻田 将一

TEL : 050-8802-4737 E-Mail : m-ogita@sskn.co.jp

